



平成28年度国公立大学附属病院医療安全セミナー開催報告

大阪大学コンベンションセンターに、全国144医療機関等から447名の参加者を迎え、平成28年度国公立大学附属病院医療安全セミナー（文部科学省後援）を開催しました。今回は、(1)医療安全に係る国の施策、組織ガバナンスの在り方について理解する、(2)医療安全の課題を、チーム医療や患者参加により解決する手法を学習する、(3)イノベーションを通じた仕事の安全・質・効率の向上について知識を得る、という学習目標を掲げ、2日間で計11のセッションを開催いたしました。ここでは、そのハイライトを紹介します。

チームで取り組む転倒予防 ～転倒予防と転倒による外傷軽減化～

座長

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 特任助教 徳永 あゆみ

講演：安藤 悦子 先生 国立長寿医療研究センター病院 医療安全推進部 医療安全管理者・看護師長

講演：原田 敦 先生 国立長寿医療研究センター病院 病院長



2005年より国立療養所東名古屋病院看護師長、2010年より同医療安全管理係長、2013年より国立長寿医療研究センター病院医療安全管理者。



名古屋大学医学部卒業。2014年4月より国立長寿医療研究センター病院長。日本整形外科学会代議員、日本老年医学会評議員、日本骨粗鬆症学会評議員。

認知症疾患医療センターを有する高齢者に特化した国立高度医療専門センターでの取り組み

背景：

- * 後期高齢者（75歳以上）の増加（フレイル（虚弱）の顕在化、骨粗鬆症の存在）
- ① 転倒の危険性増加 → ② 転倒による骨折の危険性の増加

転倒予防

1. 転倒・転落ワーキンググループの立ち上げ
ラウンド結果の一覧表作成による課題の明確化
転倒転落全報告事例の調査・分析
2. 転倒・転落アセスメントシートの評価と改訂
 - ・ 歩行自立の判断に明確な基準（立位バランステストの導入）
 - ・ 具体的かつ広範囲な内容の転倒・転落防止対策
3. 転倒・転落事故防止物品の管理

→転倒転落発生率は変化なかったが、骨折発生率は低下。

外傷軽減化

* 転倒予防の試み
環境整備、薬剤調整、運動訓練では、転倒予防効果は限定的
→転倒予防による骨折防止には限界がある

- * 転倒による骨折予防対策
- 1. 骨密度上昇：骨粗鬆症薬
- 2. 転倒による外力の軽減化：
ヒッププロテクター
は骨折抑制効果あり
- ・ すぐに効果が期待できる。
- ・ コンプライアンスが問題。



エンパワメントに基づく医療者教育 ～糖尿病劇場の実践から学ぶ～

座長

上尾中央総合病院 院長補佐 長谷川 剛 先生

講演：岡崎 研太郎 先生

名古屋大学大学院医学系研究科
地域総合ヘルスケアシステム開発寄附講座講師



1993年京都大学医学部医学科卒業。
糖尿病専門医。円滑な医療者-患者関係の
構築および医療者教育の重要性を提唱し
ている。

	伝統的な 糖尿病診療	糖尿病 エンパワメント
主役	医療者	患者
アプローチ	権威的、父性的	協働作業
関係	指示する人と 従う人	支援する人と される人
最終決定者	医療者	患者(と医療者)
責任者	医療者?	患者

糖尿病治療では、患者の自己管理が非常に重要だが、その実行度は低い。糖尿病患者に行動変容を促すには、主従関係から脱却して患者をエンパワメントするというパラダイム・シフトが必要。

<糖尿病エンパワメント>

糖尿病は患者のものであり、患者自身がその問題を解決し、治療方針を立てていく権利と能力を持っている。

エンパワメントを推進するために、

医療者への教育「糖尿病劇場」を行っている。

ワークショップ形式の医療者向け教育プログラム。
当部看護師と薬剤師が医師・患者役で劇場に出演。
会場参加型の講演で非常に好評でした。



現場に未来がやってくる ～現場の安全と自動化～

座長

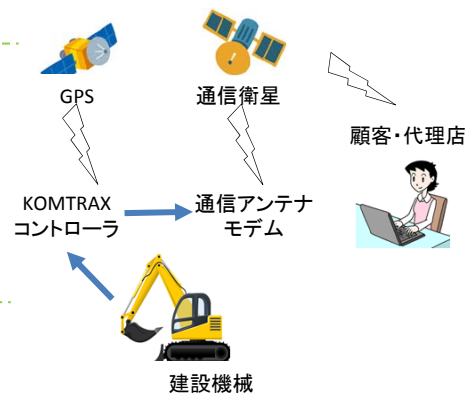
大阪大学医学部附属病院 副病院長・看護部長 越村 利恵

講演：浅田 寿士 氏

株式会社小松製作所ICTソリューション本部
ビジネスイノベーション推進部 部長



1991年大阪大学大学院機械工学科卒業。(株)小松製作所入社。建設機械の省エネ技術および情報化施工用建設機械の研究開発、機械データによる機械稼働および施工の見える化の研究などを経て現職。



重機にIT（情報技術）を加え、顧客の生産現場に
革新をもたらす新機能を加えたサービスを提供

・コムトラックス (KOMTRAX)

全世界の鉱山等で活躍する重機にITタグをつけ、その作動状況（位置情報・燃費・稼働時間など）を把握し、顧客に情報をフィードバックする。

最適な機械の動作を自動化し、有人オペレーションで達成した生産性が最も良い日を、無人オペレーションで毎日達成することができる。

・スマートコントラクション

ICTによる自動制御機能を搭載したブルドーザーや油圧ショベルにより、熟練者でなくても高度な作業が可能。

ITを用いたアプローチは医療への応用も期待されます。
質疑応答も多数あり、大変盛り上がったセッションでした。